

# 保護者の声 ～放課後児童クラブ（学童保育）について～

学童保育についてよかったことや保護者の負担について、ご紹介いたします。内容は旭区内学童保育の保護者（主に役員）からの声をまとめたものです。個人の感想、声ですので、ご参考としてご覧ください。

## ◆◆◆子どもを学童保育に預けてよかったこと◆◆◆

### ①異年齢交流による学び・成長

- ・きょうだいが少ない昨今、学年の違うお友達と一緒に集団行動の規律を学ぶことができる。
- ・学校では味えない異年齢での交流があり、高学年になるにつれ、リーダーシップを発揮する機会がある。
- ・子どもたちはただ遊ぶだけでなく、学年が上がる毎に、いろいろ考えたり、責任をもったりするようになる。年下のお友達との関わりも多いため、学んでいくことがたくさんある。

### ②指導員の目が行き届いている

- ・引っ込み思案の我が子が友達に声をかけられるようバックアップをしてくれる。
- ・指導員の方が本当に良く子ども達の事を見てくれる。
- ・指導員の目が行き届き、同じ環境のお友達と過ごしていることで、子どもの精神面が安定した。

### ③子どもたちが楽しく過ごせる

- ・色々な遊びを教えてもらい、体験できた。
- ・夏休み等の長期の休みでも退屈せず過ごせるような工夫がされている。（火起こし、料理、裁縫、工作等※）
- ・子どもたちは、遊んだり喧嘩したり、学童保育では兄弟のように過ごしてる。家庭ではできない経験（キャンプ、野外炊事、子供会議など※）ができ、小1からのこの5年間、まさしく第二のお家。  
※イベントや遊びの内容はクラブによって異なります。

### ④その他

- ・親が不在の放課後や長期休みでも安心して過ごすことができる。
- ・学校ではクラス替えで新しいクラスに馴染むまで時間がかかる子どもでも、学童保育では入所からずっと見ていただいて、少しの変化にも気づいてもらえるので、全幅の信頼をしている。子どもは毎日学童保育での出来事をたくさん話してくれる。
- ・将来学童保育の指導員になりたいと言い出したこと。

## ◆◆◆保護者として学童保育運営に関わってよかったこと◆◆◆

### ①保護者同士や地域とのつながり

- ・保護者同士や地域の知り合いが増え、つながりができる。
- ・情報交流の場としても機能している。
- ・学童保育の知り合いから中学校や高校等の情報が入手できる。

## ②その他

- ・指導員や子ども達の関わりがよくわかる。
- ・指導員と一緒に、運営について考えていける。
- ・イベント参加などは貴重な体験になった。
- ・小さな組織とは言え、ほぼ1つの法人を運営するのに近い経験をできるため、経営者目線でものをみる考え方が身につく。
- ・子どもが属する組織運営に関わることで、親が頑張っている背中を子どもに見せられる。
- ・イベント企画等で他の保護者や指導員の方とひとつの事をやっていくのは楽しかった。
- ・学童そのものに愛着が湧く。学童保育ならではの熱さがある。

### ◆◆◆保護者の負担・負担を減らす工夫（クラブにより異なる）◆◆◆

#### 会計役員について

##### 負担

- ・年間を通して負担が大きい。
- ・仕事をしながらではかなり大変。
- ・継続しないとノウハウが蓄積されない。



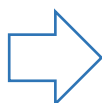
##### 工夫

- ・会計ソフトなどの活用。
- ・公認会計士等、専門家の雇用
- ・役員経験者が新任役員をフォロー
- ・行事やイベント等では役員以外の保護者にも役割を振る

#### 保護者会・役員会の集まりについて

##### 負担

- ・保護者会や役員会議の参加が負担。
- ・毎月の保護者会について、子どもたちの様子が分かり有難いが、負担が大きい。



##### 工夫

- ・ZOOMなどのオンラインを活用
- ・メール等のみで業務が回る体制を構築
- ・役員会、連絡会、実行委員会を同日開催とする